

## コミュニケーション第2339号

### 理事会の決定

ISU理事会は2020年8月3日にオンライン会議を通じて会合を行った。以下は会合の中で理事会によって為された決定である。

#### 1. ISUグランプリフィギュアスケート2020/21シーズン

多くの渡航やその他の制限、特に世界中のリスクを含む、継続する危機的なCOVID-19の進展を考慮すると、理事会は、2020年4月28日の理事会 (ISUコミュニケーション第2320号) で決定した基本方針、すなわち、国際的なアイススケート競技会の参加者の健康と安全は、引き続き最優先事項である、と繰り返した。COVID-19に関連する健康と安全への懸念だけでなく、国際的に競争するための最高の機会を選手たちに与える必要性も考慮して、ISUは、2020/21シーズン中に安全に開催できる全ての国際競技会を開催するために、ISU会員に最大限のサポートを提供する。

上記の例外的な状況、ISUの基本方針及びCOVID-19下の危険な海外渡航を最小限に制限する目的を考慮しながら、理事会は、ISUグランプリフィギュアスケートシリーズを運営する6つのISU会員 (カナダ、中国、フランス、日本、ロシア、アメリカ) から受け取った提案を検討した。ISU組織規約第17条第1項q)に従って理事会に与えられた権限に沿って、理事会は、2020/21シーズンの個々のISUグランプリフィギュアスケート大会が、国内的に運営される大会になるという提案に、原則として同意した。理事会の原則的な合意は、ISUとISUグランプリの6つの運営会員のそれぞれが詳細な合意に達することを条件としている。

各ISUグランプリフィギュアスケート大会への参加は以下に限定される

- i) 開催国の選手と競技役員
- ii) 通常、それぞれの開催国で練習をしている選手
- iii) その地域のグランプリフィギュアスケート大会に割り当てられる他のISU会員の選手で、関係国の該当する渡航、入国、及び衛生上の制限による。

各ISUグランプリフィギュアスケート大会に含まれる競技区分、招待された選手のエントリーの数と基準/条件/制限、ISUグランプリフィギュアスケートファイナルの資格基準、費用の責任、競技役員の資格と数、主催するISU会員への賞金を含むISUの財政的及びその他の支援など、関連するすべての詳細は、個々のグランプリイベントを運営する6つのISU会員と協力し、ISU理事会が任命した専任の作業部会により、理事会の承認を条件に実施され、できるだけ早く公表される。

各ISUグランプリ大会は、開催国の健康/衛生要件に従って運営される。そのような国内の健康/衛生要件と矛盾しない限り、COVID-19パンデミック中にISU大会を開催するためのISUガイドラインも基本的に適用されなければならない。これらのガイドラインは現在準備中であり、できるだけ早く公開される。

公平を期すために、ワールドスタンディング/ランキングポイントは付与されず、選手が獲得した得点は、ISU選手権に適用される最小総要素点に考慮しない (この点に関しては、以下の第3項が考慮される)。

ISUグランプリ大会は、原則として、通常の権利を保有するISUのメディアパートナーと、主催するISU会員によって放送される。

2020/21シーズンには、次のように6つのISUグランプリフィギュアスケートが依然として予定されている:

スケートアメリカ	2020年10月23-25日	ラスベガス, ネバダ州	アメリカ
スケートカナダ国際	2020年10月30-11月1日	オタワ	カナダ
中国杯	2020年11月6-8日	重慶	中国
フランス国際	2020年11月13-15日	グルノーブル	フランス
ロステレコム杯	2020年11月20-22日	モスクワ	ロシア
NHK杯	2020年11月27-29日	大阪	日本

ISUグランプリフィギュアスケートファイナルは、2022年冬季オリンピックのテスト大会として2020年12月10-13日に北京で開催される予定であり、その開催については、ファイナルがいつどのような条件で開催できるかの結論を出すべく、中国側の担当者との協議する。ISUは、結論が確認され次第、関係者に最新情報を提供する。

## 2. フィギュアスケートのチャレンジャーシリーズ

ISUグランプリフィギュアスケートの状況と同様に、2020/21シーズン中のチャレンジャーシリーズの大会開催は複雑になる可能性が高く、開催された場合、限られた数の選手しか参加できない。

従って理事会は、公平を期すために、ワールドスタンディング/ランキングポイントは与えられず、選手が獲得した得点は、該当するISU規則 (規程第420条及びISUコミュニケーション第2303号) が尊重されている場合にのみ、最小総要素点と見なすことを決定した (この点についても、以下の第3項を考慮しなければならない)。

## 3. ISUフィギュアスケート選手権 – 最小総要素点

ISUコミュニケーション第2332号に記した通り、理事会は、理事会は、2021年ISUフィギュアスケート選手権への参加に必要で、2020/21シーズン及び2020/21シーズンの大会で獲得した最小総要素点を2020年選手権に承認されたものと同じく維持することを決定した。しかし、COVID-19パンデミックにより、2020年秋に多数の大会が中止された場合、理事会は10月の理事会会合時に、最小総要素点に関する状況を再検討することを当時の理事会が示しており、これを繰り返す。

## 4. ISU選手権フィギュアスケート・スピードスケート及びISUスピードスケート・ショートトラックスピードスケートワールドカップ2020/21シーズン

上記のISU大会開催の評価は、以降のオンライン会議中に理事会によってなされる。

## 5. 次回の理事会

理事会は2020年8月28日に再度オンラインで会合を行う

トゥブベーゲン,  
2020年8月4日  
ローザンヌ,

ISU会長 Jan Dijkema,  
専務理事 Fredi Schmi